



# 学長交渉へ準備進む

12月18日

定例執行委員会

12月執行委員会では、学長交渉に向けての要求書作成作業計画が決まり、1月中にまとめることができることが確認された。

## 「岡山大学の構造改革プラン」

この間に、12月2日付の「岡山大学の構造改革プラン」が(学長から?)提示された。これまでの学長メモの延長上にあるものだが、「環境総合研究所」「環境総合大学院」を柱とする「環境総合教育研究機構」構想など、新しい提起もいくつかある。その内容について知らされていない執行委員も多く、三役で、早急に内容を検討して、要求書としての原案を作成することになった。

## 「暫定的な一時金を支給するよう緊急要望書を提出予定

定例の要求書づくりとは別に、非常勤職員等の3月「暫定的な一時金」の支給を求める学長への緊急要望書を、一月中頃にも提出することにした。3月とい

るので、これだけで、緊急に交渉の場を設けるよう要求する予定。

## 「研究投資と経済貢献」

(『読売新聞』より転載)

大学や国立研究機関などの研究風土を変えようという動き自体は五年ほど前から始まった。一九九六年から五年間の計画を定めた第一期科学技術基本計画の策定がその引き金になつていき、当時は「基礎研究」重視の色彩が強かった。だが、状況は変わった。今では研究分野の重要性を議論する時、潜在的な市場規模が引き合いに出され、「このままでは米国など諸外国に負けてしまう」という表現が、殺し文句のようになつていく。

ことに大学については、産業のたねになるべく、産業界と連携を求むよう働きかける必要がある。これからは、大学の研究が、社会の発展に貢献するよう、政府や企業から資金を供給されるよう、積極的に働きかける必要がある。大学の研究が、社会の発展に貢献するよう、政府や企業から資金を供給されるよう、積極的に働きかける必要がある。

このように、大学の研究が、社会の発展に貢献するよう、政府や企業から資金を供給されるよう、積極的に働きかける必要がある。大学の研究が、社会の発展に貢献するよう、政府や企業から資金を供給されるよう、積極的に働きかける必要がある。

## 大学憲章づくり

## 憲章草案作成WG作業進む

## 山形大学でも

日本科学者会議岡山支部では、一〇月来憲章づくりの準備を重ねてきた。去る一二月一八日午後第三回目のWG会議を開いた。

## 一二月中に草案を

その結果、連合体の二月学長交渉の場で話題と出来るように草案づくりを急ぐことが確認された。これまでの議論をふまえて、また、石黒案をたたき台として、年内に、各委員の憲章案をしあげ、一月早々第四回WG会議で、最終草案を決定することとされた。

## 山形大学でも

「全大教」第一五〇号(一二月一〇日)によれば、「山形大学憲章」作成が進んでいるとのこと。岡山大学での作業が呼び水になったのかもわからない。

## 散歩道

冬の朝、まださめやらの霜が白く浮かび上る。私は冷たくほの暗い空気のなかに身体を滑り込ませる。朝の寒気が、ヒシと迫る。その寒気が、私の朝の風よりも私は好きだ。寒気は厳しいけれど、その静けさには、心をなごませる穏やかさがある。昼間は、なまじ日が出て、暖かさを放つだけ、吹きさらさる風が慌ただしく身に沁みる。

## 理念と責務

今はやりの地方国立大学が「生き残り」をかけたので、戦略を考へるといって、それを披瀝しながら、大学の理念と責務について、思いをまとめる作業がなされている。岡山大学での作業も、こうして全国の動きに学びながら、進められるものを目ざしている。

## 医療改悪阻止請願署名に取り組もう

- 1 3割負担を行わないこと。
  - 2 高齢者負担引き上げを行わないこと。
  - 3 保険料引き上げを行わないこと。
- 請願主体  
中央社会保障推進協議会  
医療団体連絡会議  
取り扱い団体  
全大教

連合体執行部は以上の要項で、請願署名活動を開始した。組合員の積極的な協力を期待している。1月末が締切。詳細は、執行委員、連合体まで問い合わせしてほしいとのこと。

## 職組日誌(11~12)

- 11月
- 12 【教】総決起集会・文化レク
  - 17 【農】収穫祭参加
  - 28 【農】執行委員会
  - 28 【文法経】文化レク
  - 29 【文法経】執行委員会
  - 29 【教】執行委員会
- 12月
- 1 【農】つり大会
  - 4 【連合体】三三大会
  - 10 【連合体】三三大会
  - 18 【連合体】三三大会

(k)